

ソーシャルマーケティングを活用した 肝炎ウイルス検査 受検・受療率向上の手法

平成27年9月29日

第15回肝炎対策推進協議会

株式会社キャンサーズキャン 福吉 潤

Cancer+scan
パブリックヘルス推進のエンジン

ソーシャルマーケティングとは

- 民間企業で用いられるマーケティング手法を社会課題解決に応用する活動
- 対象者のニーズを調査し、ニーズに沿った情報を提供し行動変容を促す
- 検診受診、禁煙、等の分野で活用されてきた手法

ソーシャルマーケティングの手法を活かした がん検診受診率向上の実例

市町村	対象がん種	事業内容	対象者	受診率の変化	介入前後比較
S市	胃がん	個別受診勧奨 再勧奨 意識調査	63,68歳男女 21,000人	5.8%⇒21.4%	3.68倍
C市	乳がん	個別受診勧奨 再勧奨	62,64歳女性 7,758人	7.4%⇒20.4%	2.75倍
N市	子宮がん	個別受診勧奨 再勧奨	34,39歳女性 (2年以内未受診者) 9,000人	4.8%⇒7.2%	1.5倍
K市	大腸がん	個別受診勧奨 再勧奨 意識調査	64,65歳男女 4,000人	12.9%⇒61.3%	4.75倍
H市	乳／子宮／大腸 がん	個別受診勧奨 再勧奨	28,33,43歳女性、49歳男女 4,000人	3.4%⇒20.9%	6.14倍
H町	乳がん	個別受診勧奨 再勧奨	40-50代 (無料クーポン非対象者) 1,500人	7.6%⇒12.0%	1.57倍
T市	乳／子宮がん	個別受診勧奨 再勧奨	30-60歳女性 15,000人	9.4%⇒21.8%	2.31倍

「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」より 今後の取組の方針について

情報の提供

肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う

受検の促進

全ての国民が少なくとも一回は
肝炎ウイルス検査を受検する

受診・受療 の促進

陽性と分かった方を受診・受療に導く

「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」より 今後の取組の方針について

情報の提供

肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う

受検の促進

全ての国民が少なくとも一回は
肝炎ウイルス検査を受検する

受診・受療 の促進

陽性と分かった方を受診・受療に導く

人は

正しい知識

を得ると



正しい行動

を取るようになる

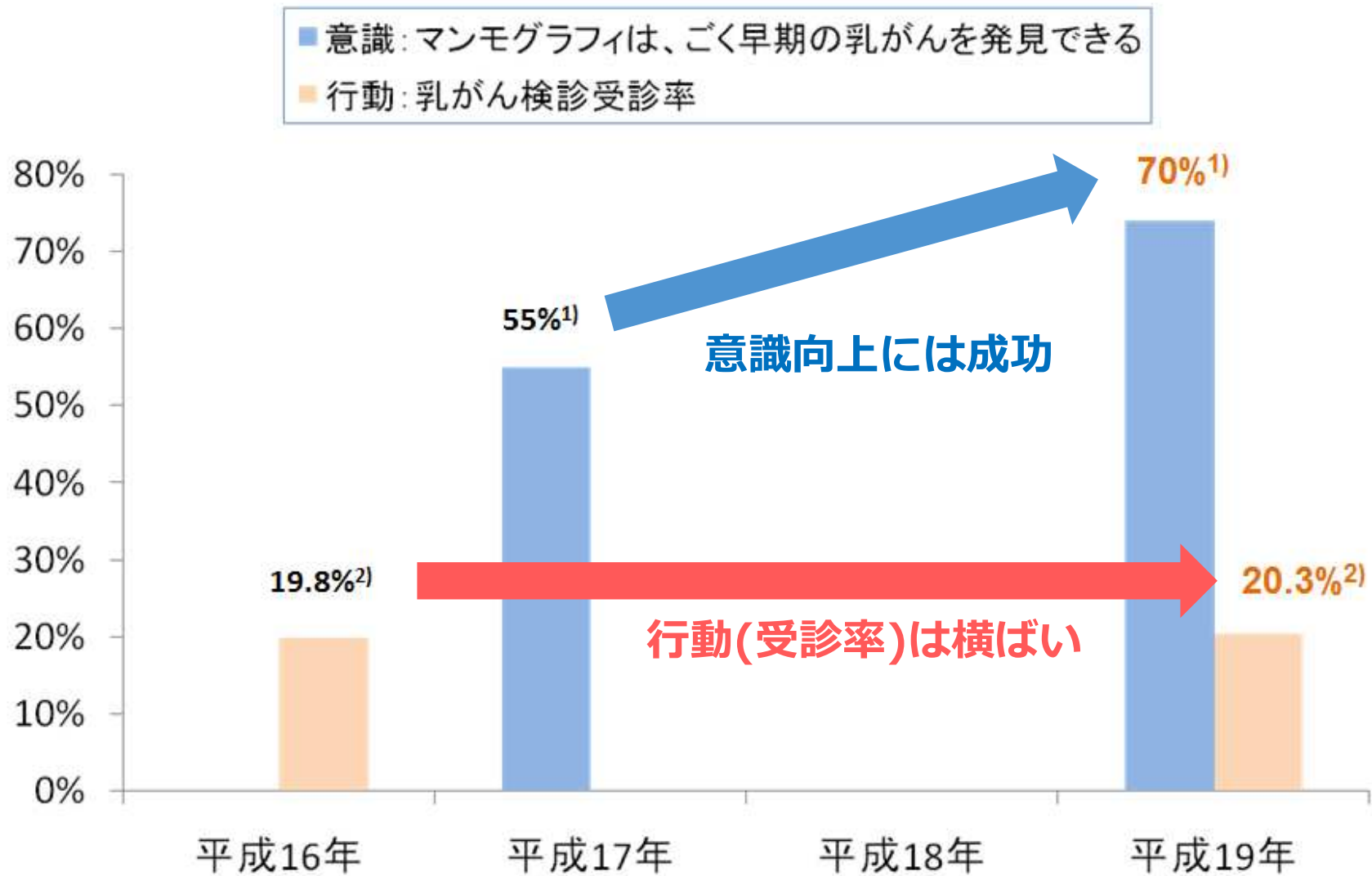
これが成立するのであれば、
健康行動（検診受診・禁煙・食生活改善・運動等）を
起こすことは簡単である。
しかし、、、

例) 乳がんの啓発 ピンクリボンキャンペーン

Pink Ribbon Campaign

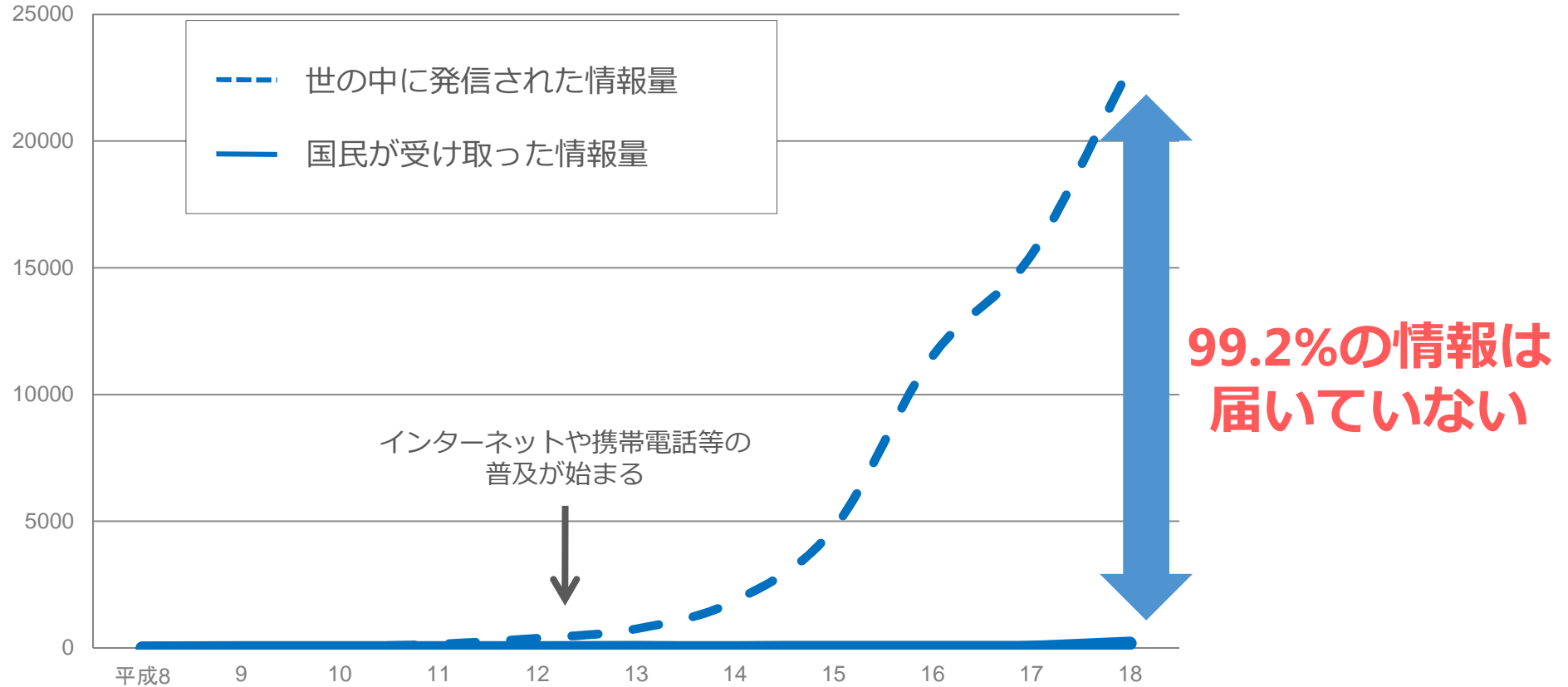


例) ピンクリボンキャンペーンの効果



Source: 1) goo、乳がんに関する2万人女性の意識調査、2) 国民生活基礎調査

発信された情報量・受け取った情報量



「とりあえず情報発信すれば誰かに届いている」という時代の終焉

出典：総務省「平成18年情報流通センサス報告書」

市役所からの乳がん検診のご案内①

乳がん検診のご案内

では40歳以上（年度末現在）の女性で検診機会のない方を対象に乳がん検診を実施しています。

乳がん検診を受けることで早期発見し、乳がんによる死亡を防ぐことができます。2年に1回は乳がん検診をご利用いただけますので、ぜひ、この機会に受診してください。

なお、勤務先等において同様の検診機会のある方は、この受診はご遠慮ください。

<マンモグラフィによる検診を受けましょう。>

の乳がん検診は、マンモグラフィ検査と視触診検査の併用法で行います。

マンモグラフィとは、乳房専用のX線撮影のことです。

撮影は、立体的で厚い乳房を正しく撮影するために圧迫板で圧迫し、乳房を薄くひきのばして撮影いたします。

これは圧迫せず撮影した場合に比べ、少ない放射線できりの影がはっきり写り、的確な検診結果が得られます。

マンモグラフィで撮れる写真は、乳がん初期症状の石灰化や腫瘍等を写し出します。

X線の量はごくわずかで乳房だけの部分的なものです。骨髄への影響はありません。

ただし、妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、実施医療機関へご相談ください。

※このお知らせは、区にお住まいの方で、平成20年4月1日～平成21年3月31日までに満年齢40歳以上にお送りしています。

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

文字が多く読めない

市役所からの乳がん検診の案内②

区からの重要なお知らせ

平成 21 年度
乳がん検診のお知らせ

ご存知でしたか？
乳がん検診（マンモグラフィ）を受けると、
区役所から補助が出ることを。

乳がん検診（マンモグラフィ）は精度の高いしっかりとした検診ですが、
その分、高価な検診です。（約 11,000 円）

区が主催する乳がん検診（マンモグラフィ）は

**約 10,000 円の補助が受けられますので
自己負担額 1,000 円で受診して頂けます。**

区では、区民の方に乳がん検診（マンモグラフィ）を
受けて頂けるよう、サポートをいたします。

ぜひ乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて下さい。

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

返信用はがきに必要な事項を記入し、投函していただくだけで、受診券がお手元に届きます（平成 21 年 3 月末頃）。
検診を希望されない方も、返信用はがきのご返送をお願いいたします。

調査を元に修正

メッセージの修正

厚生労働省科学研究費「受診率向上につながるがん検診の在り方や、普及啓発の方法の開発等に関する研究」にて調査を元に資材を開発

研究で開発したチラシ

- ・レイアウト整理（原則1行14文字以内）
- ・情報を整理しメッセージを絞る
- ・「10,000円の補助が出ます」



インタビュー調査の結果

- ・「1万円も補助してくれるの？」
⇒お得・税金を取り戻す仕組みとしての**自分事化**
- ・「じゃあ、やっぱり、しっかりした検査なんだ」
⇒**納得**

区からの重要なお知らせ

平成 21 年度
乳がん検診のお知らせ

ご存知でしたか？
乳がん検診（マンモグラフィ）を受けると、
区役所から補助が出ることを。

乳がん検診（マンモグラフィ）は精度の高いしっかりとした検診ですが、その分、高価な検診です。（約 11,000 円）

区が主催する乳がん検診（マンモグラフィ）は

**約 10,000 円の補助が受けられますので
自己負担額 1,000 円で受診して頂けます。**

区では、区民の方に乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて頂けるよう、サポートをいたします。

ぜひ乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて下さい。

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

返信用はがきに必要な事項を記入し、投函していただくだけで、受診券がお手元に届きます（平成 21 年 3 月末頃）。
検診を希望されない方も、返信用はがきのご返送をお願いいたします。

メッセージ送り分けによる受診者数の比較

東京都医療保健政策区市町村包括補助事業 「がん検診受診率向上事業」にて効果検証を実施

乳がん検診のご案内

杉並区では40歳以上（年度末現在）の女性で検診機会のない方を対象に乳がん検診を実施しています。

乳がん検診を受けることで早期発見し、乳がんによる死亡を防ぐことができます。2年に1回は杉並区乳がん検診をご利用いただけますので、ぜひ、この機会に受診してください。

なお、勤務先等において同様の検診機会のある方は、この受診はご遠慮ください。

<マンモグラフィによる検診を受けましょう。>

杉並区の乳がん検診は、マンモグラフィ検査と視触診検査の併用法で行います。

マンモグラフィとは、乳房専用のX線撮影のことです。
撮影は、立体的で厚い乳房を正しく撮影するために圧迫板で圧迫し、乳房を薄くひきのばして撮影いたします。
これは圧迫せず撮影した場合に比べ、少ない放射線ですりこの影ははっきり写り、的確な検診結果が得られます。
マンモグラフィで撮れる写真は、乳がん初期症状の石灰化や腫瘍等を写し出します。
X線の量はごくわずかですり乳房だけの部分的なものです。骨髄への影響はありません。
ただし、妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、実施医療機関へご相談ください。

※このお知らせは、杉並区にお住まいの方で、平成20年4月1日～平成21年3月31日までに満年齢40歳以上にお送りしています。

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

1人

1500人

からの重要なお知らせ

平成21年度
乳がん検診のお知らせ

ご存知でしたか？
乳がん検診（マンモグラフィ）を受けると、
区役所から補助が出ることを。

乳がん検診（マンモグラフィ）は精度の高いしっかりとした検診ですが、その分、高価な検診です。（約11,000円）

杉並区が主催する乳がん検診（マンモグラフィ）は

**約10,000円の補助が受けられますので
自己負担額1,000円で受診して頂けます。**

杉並区では、区民の方に乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて頂けるよう、サポートをいたします。

ぜひ乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて下さい。

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

※検診は必ず必要事項を記入し、提出していただくだけで、検診券が杉並区に届きます（平成21年2月末日）。検診券を希望されない方も、検診用紙がきりご返送をお願いいたします。

131人

1489人

未受診者（過去5年間）を、2群に無作為に割り付け

メッセージを伝えるために

多くを伝えようとする
結局何も伝わらない



大事なひとつのメッセージに
絞り込み確実に伝える



必ず事後評価

どのメッセージに絞り込むか
行動科学的な調査・研究が必要

メッセージの例)

かかりやすさ

- 将来、あなたが肝炎にかかる可能性はXX%

受検の利益

- 早期発見・早期治療をすると、XX%の人が治る

肝炎の重大性

- 肝炎は進行すると肝がんに至ることがある

受検に至る障害の除去

- 市の肝炎検査はXX円で受けることができる
- 肝炎ウィルス検査は血液検査である
- 肝炎ウィルス検査は、一生のうち1回受ければよい
- 陽性と分かり治療をする場合は、助成金が出る

「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」より 今後の取組の方針について

情報の提供

肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う

受検の促進

全ての国民が少なくとも一回は
肝炎ウイルス検査を受検する

受診・受療
の促進

陽性と分かった方を受診・受療に導く

一般的な受検促進の考え方

受けない理由を調べる

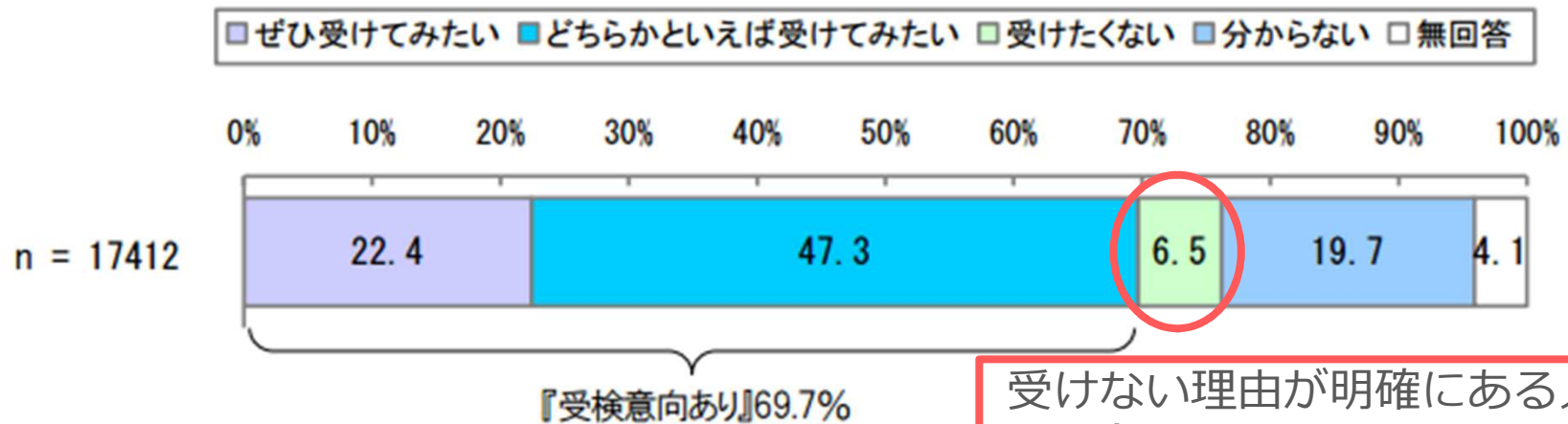


受けるべき理由を伝える

この“説得的”手法で良いのか？

肝炎ウイルス検査未受検者の受検意向

問5 (2) 今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか



多くの方は、「積極的に受ける理由がない」だけ



他の健診を受けるときに、付いてくればセットで受ける
わざわざ断るほどに嫌ではない

出典：厚生労働省「平成23年度 肝炎検査受検状況実態把握事業 事業成果報告書」

例) セット受診のインパクト

特定健診の採血時に肝炎ウイルス検査をセットにする

肝炎検査受検者数 (H24年度) **110万人**

特定健診受診者数 (H24年度) **2400万人**

医療機関名	電話	特	肺	大	乳	子	肝
本 庁							
クリニック		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
眼科		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
診療所		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
クリニック 泌尿器科		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
医院		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●
クリニック		●	●	●	●	●	●

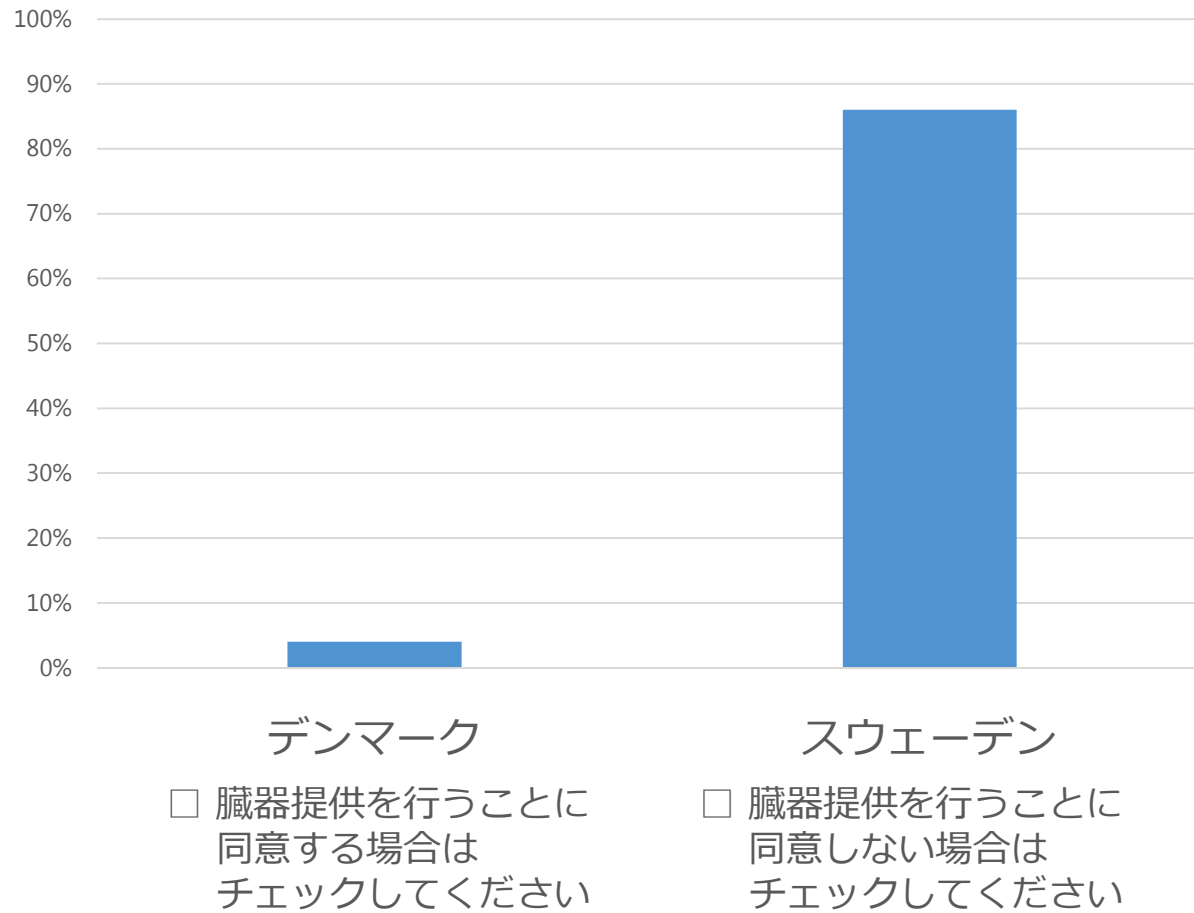
すでに多くの自治体で、
特定健診・がん検診・肝炎検査の
同時実施は行われている

しかし

「望めば同時に受けられる」こと (Opt-in) と、
「断らない限りはセットでついてくる」こと (Opt-out) は
大きく異なる

行動経済学の知見

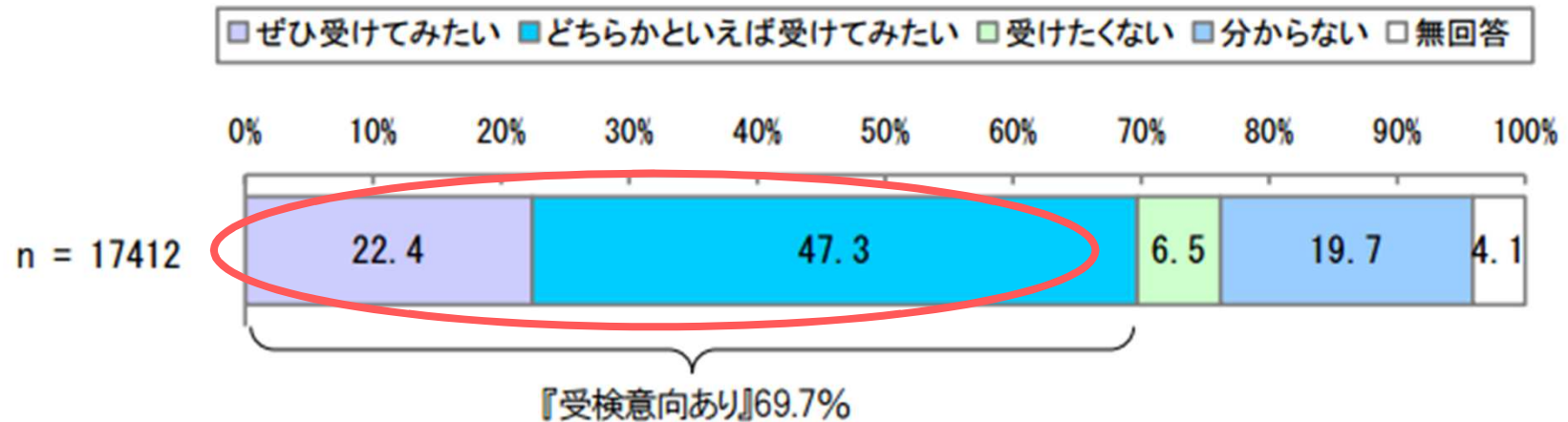
臓器提供を行う運転免許保持者の割合



「予想通りに不合理」 (ダン・アリエリー) より

肝炎ウイルス検診受検率向上のために

問5 (2) 今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか



「受けたくない人を説得する」手法ではなく
受けても良いと思っている人が自然と受ける状態を作る

「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」より 今後の取組の方針について

情報の提供

肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う

受検の促進

全ての国民が少なくとも一回は
肝炎ウイルス検査を受検する

受診・受療
の促進

陽性と分かった方を受診・受療に導く

陽性と判った者を
受診・受療に導く

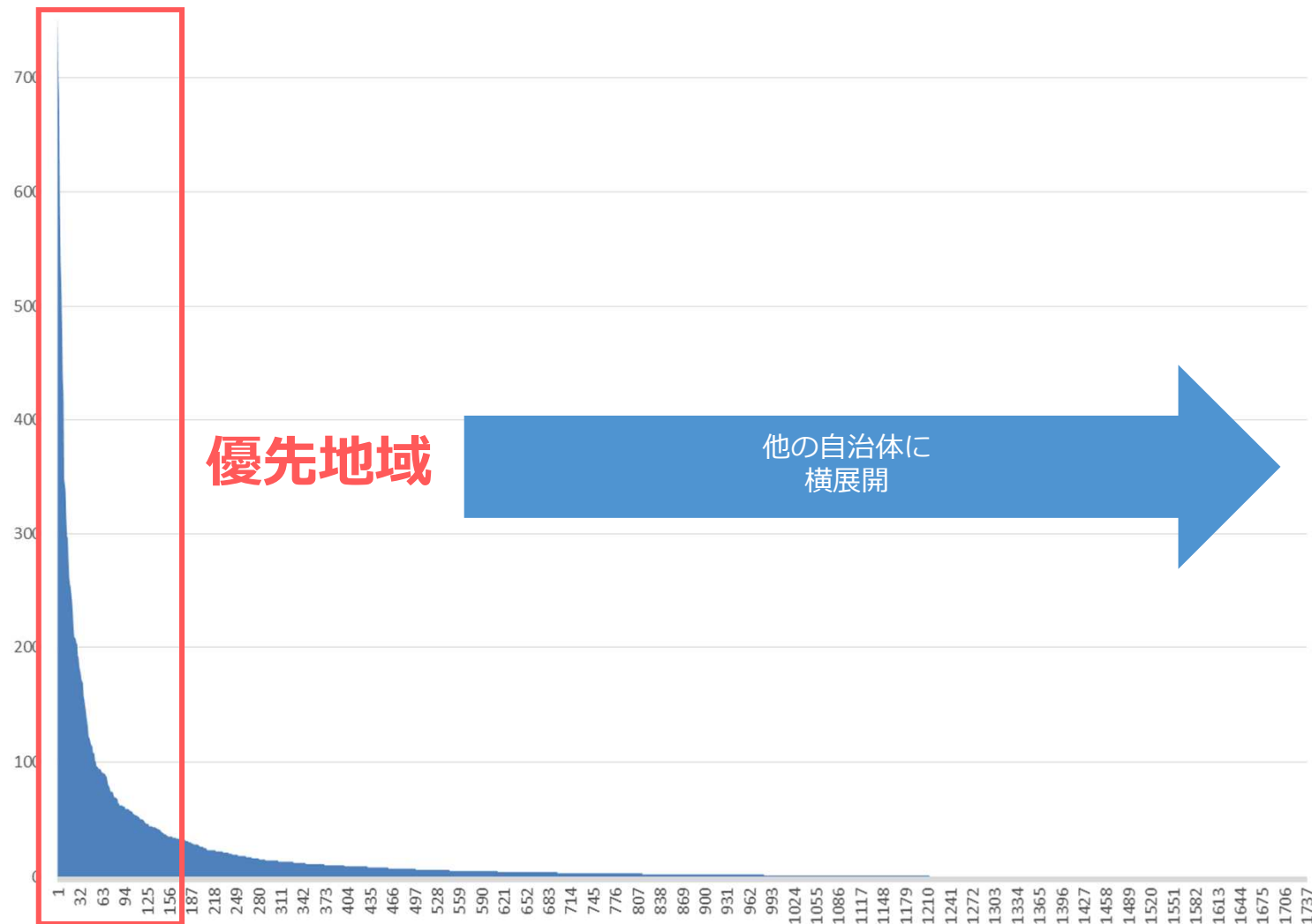


自治体が陽性者の
フォローアップを実施



優先順位の高い
自治体から順次スタート

全国自治体HCV陽性者分布



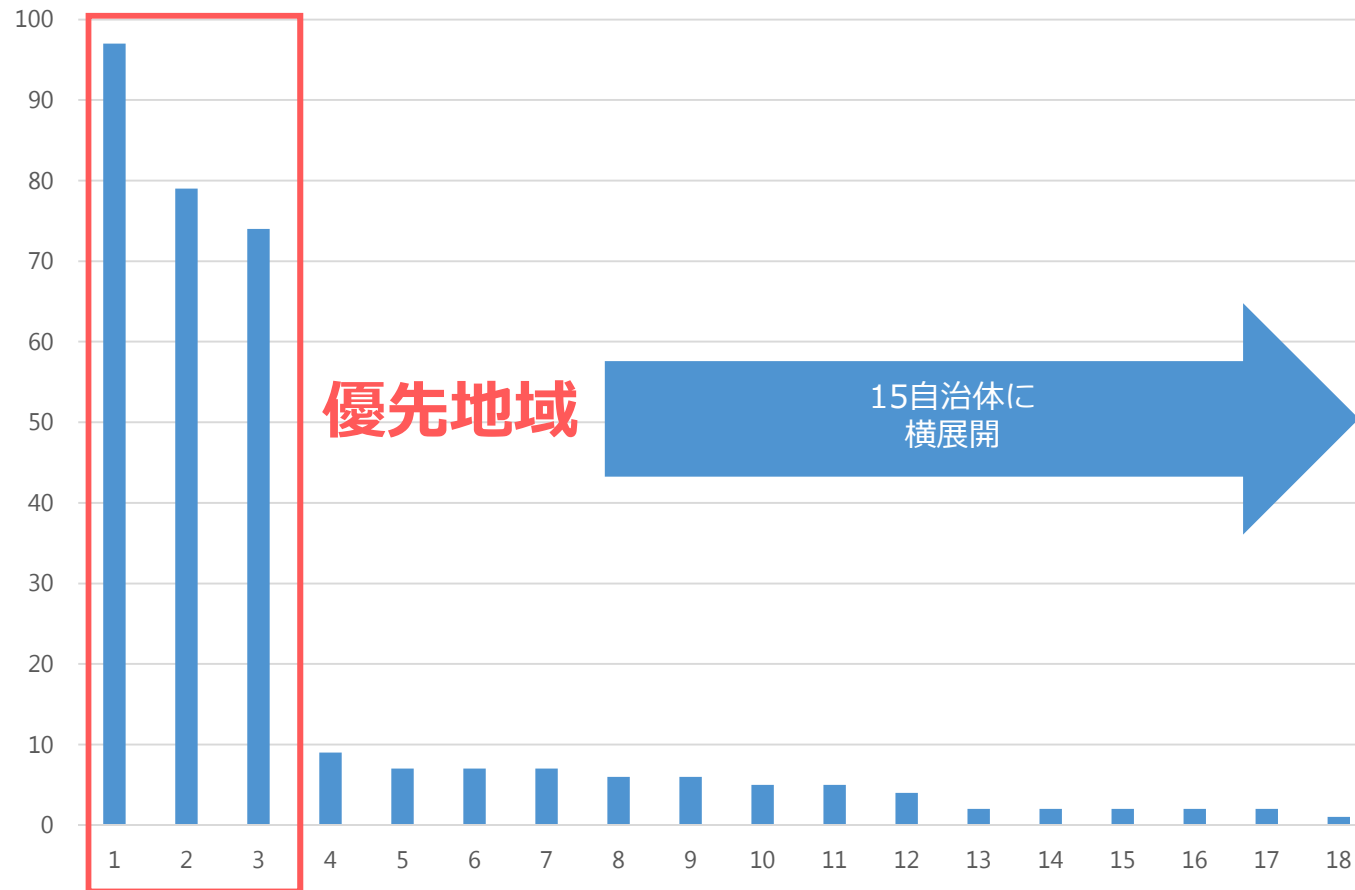
※参照データ：地域保健・健康増進事業報告健康増進編閲覧（健康増進編）市区町村表 肝炎ウイルス検診受診者数・判定別人員数，市区町村、年齢別 平成22年度～25年度
厚生労働省各自治体における肝炎ウイルス検診等の実績 特定感染症等事業 平成22年度～25年度

A県内市町村HCV陽性者データ

市区町村	陽性者数						合計
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
市	48	18	17	6	5	3	97
市	51	5	4	7	10	2	79
市	16	18	19	8	5	8	74
町	-	-	1	1	4	3	9
市	-	-	-	0	0	7	7
市	3	3	1	0	0	0	7
市	2	1	1	2	1	0	7
市	1	-	2	2	0	1	6
市	1	-	-	1	3	1	6
市	-	1	3	0	0	1	5
町	3	1	-	0	0	1	5
市	2	-	-	0	1	1	4
市	-	1	1	0	0	0	2
市	1	-	1	0	0	0	2
市	-	-	-	0	0	2	2
市	-	-	2	0	0	0	2
町	1	1	-	0	0	0	2
村	1	-	-	0	0	0	1

※参照データ：地域保健・健康増進事業報告健康増進編閲覧（健康増進編）市区町村表
 肝炎ウイルス検診受診者数・判定別人員数，市区町村、年齢別 平成20年度～25年度

都道府県別効率的なアプローチ方法例



18市町村のうち3市（県全体の陽性者の80%）において
フォローアップ事業を徹底 ⇒ モデル化し他市町村へ展開

※参照データ：地域保健・健康増進事業報告健康増進編閲覧（健康増進編）市区町村表
肝炎ウイルス検診受診者数・判定別人員数，市区町村、年齢別 平成20年度～25年度

まとめ

情報提供～受検

1. 肝炎に関する正しい知識の普及啓発を行う
⇒まず、知らせるべき**一つの大事なメッセージ**にフォーカス
2. 全ての国民が少なくとも一回は肝炎ウイルス検査を受検する
⇒まず、「受けても良い人」の**“ついで”受検**にフォーカス

受診～受療

3. 陽性者に対するフォローアップを徹底する
⇒まず、**陽性者数が多い地域**にフォーカス